



2011年11月24日

平成23年度 化学系学協会東北大会

化学教育研究協議会東北大会

報 告 書

会 期：平成23年9月17日（土）～18日（日）

会 場：東北大学川内北キャンパス

（〒980-8576 仙台市青葉区川内 41）

主 催：日本化学会東北支部

共 催：高分子学会東北支部

日本分析化学会東北支部

化学工学会東北支部

有機合成協会東北支部

電気化学会東北支部

日本材料学会東北支部

繊維学会東北北海道支部

無機マテリアル学会北部支部

後 援：宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

青森県教育委員会

秋田県教育委員会

岩手県教育委員会

福島県教育委員会

山形県教育委員会



日本化学会東北支部長
河野 裕彦（東北大院理・教授）

日本化学会東北支部化学教育議長
飛田 博実（東北大院理・教授）

日本化学会東北支部副支部長・東北大会実行委員長
及川 英俊（東北大多元研・教授）



● 講演 ●

- 【特別講演】 岩澤 康裕氏 (日本化学会会長・電気通信大学教授・東京大学名誉教授)
- 【招待講演】 各学協会推薦による現在脚光を浴びているテーマで約 10 件
- 【依頼講演】 各学協会からの推薦による研究者講演で約 20 件
- 【一般講演】 化学系学協会東北大会・ポスター発表
化学教育研究協議会東北大会・口頭発表、ポスター発表
(優秀発表者には選考を経てポスター賞を授与)
- 【特別企画】 生体分子セッション、若手シンポジウム、他
- 【合同開催】 化学教育研究協議会東北大会
有機化学コロキウム
物理化学コロキウム
ナノマテリアルコロキウム

● 各種申込 ●

・発表申込締切: 6月10日(金)・発表予稿原稿締切: 8月5日(金)・事前参加登録締切: 8月19日(金)

● 参加登録費 ●

【事前参加登録】
○一般: 4,000円 ○教育(教育会員または小・中・高校教員): 2,000円 ○大学院生: 2,000円

【当日登録】
○一般: 5,000円 ○教育(教育会員または小・中・高校教員): 3,000円 ○大学院生: 3,000円

※高校生、高専生、学部生は参加無料※

東北太平洋沖地震の影響により、プログラムなどが変則的になる場合がございますが、予定通り開催いたします。

発表申込および事前参加登録申込の詳細については、日本化学会東北支部ホームページをご参照下さい。

URL: <http://tohoku.chemistry.or.jp/>

● 懇親会 ●

日 時: 9月17日(土) 18時より
会 場: 仙台国際ホテル

事前登録: 一般 6,000円, 学生 4,000円
当日登録: 一般 7,000円, 学生 5,000円

※平成23年度より化学教育研究協議会の発表申込および参加登録も Web サイトで行います。

● 問い合わせ先 ●

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学大学院理学研究科 化学専攻内 日本化学会東北支部 大会事務局
TEL: 022-224-3883 E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp ホームページ: <http://tohoku.chemistry.or.jp/>

平成23年度

化学系学協会東北大会

会期: 9月17日(土)・18日(日)

会場: 東北大学川内北キャンパス

主催: 日本化学会東北支部

共催: 高分子学会東北支部・電気化学会東北支部・日本分析化学会東北支部・

化学工学会東北支部・有機合成化学協会東北支部・日本材料学会東北支部・

繊維学会東北北海道支部・無機マテリアル学会北部支部

平成23年度化学系学協会東北大会

2011年9月17日(土)～18日(日)

大会会場のご案内

会 場: 東北大学川内北キャンパス(〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1)
 URL: <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1003/>

交 通: 仙台市営バス、タクシーをご利用下さい。 ※駐車場はございません※



仙台市営バス

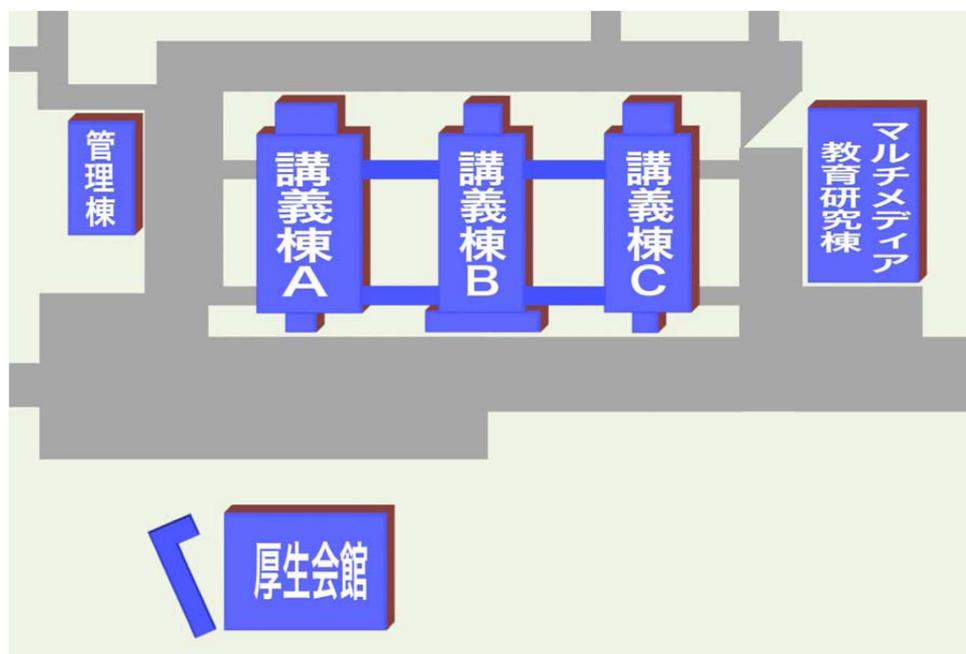
※所要時間は交通状況により異なります。
 ※仙台駅前バス乗り場案内、時刻表は、上記URLの「仙台駅前のりばの番号」をクリックして下さい。

仙台駅前のりば	行き先	下車停留所 (所要時間・運賃)
9番のりば	・宮教大・青葉台行 ・青葉通経由動物公園循環	東北大川内キャンパス・萩ホール前 [2-A]下車(約15分、運賃180円)
16番のりば	・広瀬通経由交通公園・川内(営)行 ・広瀬通経由交通公園循環	川内郵便局前 [2-B]下車(約15分、運賃180円)

タクシー

※仙台駅から約10分、料金は1,000円～1,500円。

セッション会場のご案内



大会本部	B棟 1階 談話室
大会受付	B棟 1階 (大会本部前)
A会場	M棟(マルチメディア棟)、M206教室
B会場	B棟 1階 101教室
C会場	B棟 1階 102教室
D会場	B棟 2階 200教室
E会場	B棟 1階 104教室
F会場	B棟 2階 201教室
G会場	B棟 2階 202教室
H会場	B棟 2階 203教室
P会場	A棟 1階(101,102,105,106)および 2階(202,205)
参加者休憩室	B棟 2階 自習室
クローク	B棟 1階 103教室



受付



目 次

1. はじめに
2. 東北大会報告
 - 2-1 運営基本方針
 - 2-2 参加者数
 - 2-3 講演発表件数およびプログラム
 - 2-4 企業等展示ブース
 - 2-5 本部関連広報活動
 - 2-6 懇親会
 - 2-7 優秀ポスター賞授賞式・閉会式
 - 2-8 余震対策
3. 防災・日本再生シンポジウム
「東北地方の化学と教育：3.11 から 189 日の歩み」
4. おわりに

平成 23 年度化学系学協会支部長（各セッション講演者推薦担当）
平成 23 年度化学系学協会東北大会および化学教育研究協議会東北大会
実行委員会およびプログラム編成委員
日本化学会東北支部事務局

1. はじめに

平成 22 年 9 月 25 日（土）～26 日（日）、岩手大学工学部で開催された平成 22 年度化学系学協会東北大会を引き継ぎ、平成 23 年度化学系学協会東北大会（通算 66 回目）および化学教育研究協議会東北大会を、平成 23 年 9 月 17 日（土）から 18 日（日）、東北大学川内北キャンパスにて開催すべく、その準備を進めていた。平成 23 年 2 月 8 日（火）に、東北大学理学部化学教室内で大会執行部（河野裕彦 支部長、及川英俊 実行委員長、飛田博実 化学教育研究協議会議長、珠玖 仁 大会幹事長、猿渡英之 化学教育研究協議会東北大会世話人、豊田耕三 支部幹事長、事務局 菊地珠美）による事前ミーティングを開催し、大会の運営基本方針を策定し、2 月 26 日（土）、東北大学多元物質科学研究所内で開催された日本化学会東北支部 平成 22 年度第 3 回幹事会・引継幹事会および平成 23 年度第 1 回幹事会合同会議で承認された。

3 月 11 日（金）に発生した東日本大震災を受けて、早速、河野支部長と対応を協議した結果、1）会場の講義棟や市内ホテルは殆ど被災していない、2）高速バスは運行されており、9 月頃には東北新幹線も全面復旧しているであろう、3）学内各研究室の復旧・復興作業と同時に進めるために、場合によっては大会プログラムの簡素化も検討する、4）開催予定の 9 月には東北が何とか平常に向かいつつあることを見て頂きたい。との判断から、予定通りの開催を決定し、大会執行部構成員にその旨のメールを発信し（3 月 24 日（木））、大会 HP 上にも予定通りの開催会告を掲載した。また、「東北に新しい化学の礎を」（河野裕彦、飛田博実、及川英俊：化学と工業、64(5), 406 (2011)）においても同様に開催を述べた。

当初 4 月上旬に予定されていた第 1 回実行委員会・プログラム編成を 6 月 22 日（水）に、第 2 回実行委員会を 8 月 29 日（月）に開催し、大会準備を進めた。

東北大学では甚大な被災を被った化学系研究室は決して少なくない。また、東北地方の各大学も全て何らかの被害を受けたにも拘わらず、600 名以上の多くの方々にご参加頂き、結果として成功裡に終了できたことは、実行委員会および大会関係者にとっても大変嬉しいことであった。

2. 東北大会報告

2-1 運営基本方針

本東北大会の運営基本方針（昨年度との主な相違点）を以下に記す。

- 1) 各学協会が公益社団法人または一般社団法人に移行し、事業における責任団体を明確にするために、共催学協会支部長との協議の上、本東北大会は全学協会共催から、日本化学会東北支部主催とした。なお、運営方針や基本的企画内容は、事業名とともに、昨年度の東北大会を踏襲する。
- 2) 本東北大会より、「化学教育研究協議会東北大会」をワンセクションとして開催する。但し、化学教育研究協議会東北大会は、一般口頭発表とポスター発表から構成する。
- 3) 予稿集は、「化学系学協会東北大会」と「化学教育研究協議会東北大会」の合本冊子体とする。
- 4) 参加者の増強を目指して、科学研究費補助金等をお持ちでない小・中・高教員向けの参加費を新たに設定し、さらに高校生・高専生・学部生の参加費を無料とした。

<事前登録大会参加費>

- ・一般：4,000 円
- ・化学教育（化学教育研究協議会会員および小・中・高教員）2,000 円
- ・大学院生：2,000 円
- ・高校生・高専生・学部生：無料

<当日登録大会参加費>

- ・一般：5,000 円
- ・化学教育（化学教育研究協議会会員および小・中・高教員）3,000 円
- ・大学院生：3,000 円
- ・高校生・高専生・学部生：無料

- 5) ポスター発表ディビジョンに「化学教育」を加えると同時に、以下のように見直した。

A：無機/分析/環境化学、B：物理化学、C：有機化学、D：工業化学/化学工学、E：高分子化学/繊維化学、F：材料化学、G：電気化学、H：化学教育

なお、これらの変更点も含めて、大会の基本情報、会場案内、大会タイムテーブル、一般ポスター発表申込、予稿原稿のアップロード、事前参加申込、詳細プログラム、懇親会のご案内、宿泊施設サイトなどは、本東北大会 HP 上に適宜、掲示した。

<http://tohoku.chemistry.or.jp/taikai.html> (化学系学協会東北大会)

<http://tohoku.chemistry.or.jp/kakyo.html> (化学教育研究協議会東北大会)

2-2 参加者数

会期中の参加者数（来場者数）は以下の通りである。

<事前登録>

- ・一般：195名
- ・化学教育（化学教育研究協議会会員および小・中・高教員）：12名
- ・大学院生：253名
- ・高校生・高専生・学部生：33名

小計：493名

<当日登録>

- ・一般：58名
- ・化学教育（化学教育研究協議会会員および小・中・高教員）：2名
- ・大学院生：54名
- ・高校生・高専生・学部生：41名

小計：155名

総計：648名

<所属別参加登録者数>

地域	所属	一般	化学教育	大学院生	学部生等	計
北海道 (3名)	北海道大学	1				1
	北海道大学 大学院	1				1
	苫小牧高専		1			1
青森 (41名)	地方独立行政法人青森県産業技術センター	1				1
	八戸工業高等専門学校	3				3
	八戸工業大学	2		1	3	6
	八戸工業大学大学院			2		2
	八戸高専	1				1
	八戸				1	1
	弘前大学	2		1	5	8
	弘前大学大学院	4		15		19
岩手 (40名)	一関工業高等専門学校	4			1	5
	岩学学院			1		1
	岩手医科大学	1				1
	岩手大学	9		5		14
	岩手大学大学院			18		18
	岩手県立総合教育センター		1			1
秋田 (26名)	秋田工業高等専門学校	3			4	7
	秋田大学	5		2		7
	秋田大学大学院	5		7		12
宮城 (276名)	石巻専修大学	3		1	3	7
	宮城教育大学	2				2
	東北工業大学	3		1	1	5
	東北工業大学大学院			1		1
	東北生活文化短大	1				1
	東北大学	39	1	69	7	116
	東北大学大学院	45		82		127
	東北薬科大学	1				1
	宮城県石巻北高等学校		1			1
	宮城県仙台西高等学校		1			1
	宮城県名取高等学校		1			1
	秀光中等教育学校		1			1
	聖ドミニコ学院高等学校		1			1
	仙台第二高等学校		1			1
	理化学研究所	1				1
	元日本大学	1				1
	日本電子株式会社	1				1
	産総研 東北センター	1				1
	(独)産業技術総合研究所	6				6
山形 (79名)	山形大学	12		15	13	40
	山形大学大学院	13		25		38
	鶴岡工業高等専門学校	1				1
福島 (35名)	福島県立医科大学	1				1
	日本大学	8		3		11
	日本大学大学院			8		8
	福島工業高等専門学校	2	1			3
	福島大学	4		1	1	6
	いわき明星大学	1				1
	いわき明星大学大学院			2		2
	福島県教育センター		1			1
	福島県立浪江高等学校津島校		1			1
	ソニーエナジー・デバイス株式会社	1				1
新潟	長岡技術科学大学	1				1
長野	信州大学	1				1
東京 (3名)	慶應義塾大学	1				1
	東京大学大学院	1				1
	株式会社ショーワ	1				1
茨城	独立行政法人物質材料研究機構	1				1
埼玉(2名)	理化学研究所	2				2
神奈川	神奈川大学	1				1
京都	京都大学	1				1
	不参加	-4		-7	-6	-17
	事前登録合計	195	12	253	33	493
	当日登録	58	54	2	41	155
	参加者合計				648名	

2-3 講演発表件数およびプログラム

<特別講演・招待講演・依頼講演>

	招待講演	依頼講演
特別講演セッション	3	-
無機化学セッション	1	1
分析化学セッション	1	1
環境化学セッション	1	0
物理化学セッション	0	1
有機化学セッション	1	3
工業化学セッション	0	0
化学工学セッション	1	3
高分子化学セッション	1	1
繊維化学セッション	1	1
材料化学セッション	1	1
電気化学セッション	1	3
化学教育セッション	1	0
生体分子化学	0	4
若手シンポジウム	0	4
物理化学コロキウム	0	6
有機化学コロキウム	0	4
ナノマテリアルコロキウム	0	6
計	13	39

<一般口頭発表>

	口頭発表
化学教育セッション	9
計	9

<ポスター発表>

	ポスター発表
A：無機/分析/環境化学	4 8
B：物理化学	4 3
C：有機化学	1 2 3
D：工業化学/化学工学	2 4
E：高分子/繊維化学	4 1
F：材料化学	4 4
G：電気化学	3 2
H：化学教育	6
計	3 6 1

講演発表総件数：4 2 2 件

<大会タイムテーブル>

平成23年度 化学系学協会東北大会タイムテーブル

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	P会場
17日 午前			【物理化学コロキウム】 8:30～11:40 【共催】日本分化学会東北支部 全6講演 【物理化学】 11:40～12:10 依頼講演1	【有機化学コロキウム】 9:30～12:10 【共催】有機合成化学協会東北支部 全4講演	【ナノマテリアルコロキウム】 9:00～12:00 全6講演	【生体分子】 10:00～12:00 依頼講演4	【若手シンポジウム】 10:00～12:00 依頼講演4		
17日 昼	【お昼休み】12:00～13:00								
17日 午後	【特別講演1】 13:00～14:00 高野 淳二 先生 【会長講演】 14:15～15:15 岩澤康裕 先生							【化学教育研究協議会】 口頭:15:30～16:15 ポスター:16:15～17:00	ポスター① 15:30～17:00
17日 夜	【懇親会】18:00～20:00 仙台国際ホテル								
18日 午前		【高分子化学】 【繊維化学】 9:00～11:00 招待講演2 依頼講演2	【電気化学】 9:00～11:00 招待講演1 依頼講演3	【有機化学】 9:00～11:00 招待講演1 依頼講演3	【無機化学】 【材料化学】 9:00～11:00 招待講演2 依頼講演2	F会場 【分析化学】 【環境化学】 研修みちのセミナー+ 共催 日本分化学会東北支部 9:00～11:00 招待講演2 依頼講演1	【化学工学】 9:00～11:00 招待講演1 依頼講演3	【化学教育研究協議会】 口頭:9:00～11:30	ポスター② 11:15～12:45
18日 昼	【お昼休み】12:45～13:30								
18日 午後	【特別講演2】 13:30～14:30 下井 守 先生 受賞者発表・閉会式 14:30～15:00								
教室(座席数)	マルチメディア棟 M-206(430)	B棟1階101教室(170)	B棟1階102教室(170)	B棟2階200教室(200)	B棟1階104教室(170)	B棟2階201教室(170)	B棟2階202教室(170)	B棟2階203教室(170)	A棟教室を使用

9月18日(日)の14:30より、A会場にてポスター賞受賞者を発表いたします。

平成 23 年度 化学系学協会東北大会

口頭発表一覧

特別講演プログラム

A 会場(マルチメディア棟 M-206 教室)

9 月 17 日(土) 13:00~14:00

座長：及川英俊（東北大学多元物質科学研究所教授、大会実行委員長）

「熱電材料の現状と今後の展開」

吉野淳二

（東京工業大学大学院理工学研究科教授）

9 月 17 日(土) 14:15~15:15

座長：河野裕彦（東北大学大学院理学研究科教授、平成 23 年度支部長）

「科学の夢ロードマップと化学への期待：我が国の課題と 21 世紀の挑戦」

岩澤康裕

（電気通信大学燃料電池イノベーション研究センター・大学院情報理工学研究科教授、日本化学会会長）

9 月 18 日(日) 13:30~14:30

座長：

猿渡英之（宮城教育大学教育学部教授、平成 23 年度東北支部化学教育協議会副議長）

「高等学校新学習指導要領における「化学基礎」

および「化学」とそれに関連する問題」

下井 守

（東京大学大学院総合文化研究科教授、日本化学会教育・普及部門長）

招待講演プログラム

9月18日(日) 9:00~11:00

B会場 (B棟 1階 101教室)

【高分子学会東北支部推薦】

18B1 (9:00~9:30) 座長：寺境光俊(秋田大院工学資源)

「自己組織化による高分子微粒子の作製と有機-無機ハイブリッドへの展開」

藪 浩 (東北大多元研)

【繊維化学会東北北海道支部推薦】

18B2 (9:30~10:00) 座長：金沢 等(福島大理工)

「トップダウン・ボトムアッププロセス融合による高分子マイクロ・ナノ構造形成」

伊藤浩志(山形大院理工)

C会場 (B棟 1階 102教室)

【電気化学会東北支部推薦】

18C1 (9:00~9:30) 座長：仁科辰夫(山形大工)

「定置型大型リチウムイオン2次電池用電極材料の開発」

熊谷直昭 (岩手大工)

D会場 (B棟 2階 200教室)

【有機合成化学協会東北支部推薦】

18D4 (10:30~11:00) 座長：寺田眞浩(東北大院理)

「グリコシダーゼ機構解明のための糖鎖誘導体の合成研究」

橋本 勝 (弘前大農生命科学)

E会場 (B棟 1階 104教室)

【無機マテリアル学会北部支部推薦】

18E1 (9:00~9:30) 座長：滝澤博胤(東北大院工)

「水溶液プロセスによる有機酸を含むハフニア薄膜の作製と表面機能」

西出利一 (日大工)

【日本材料学会東北支部推薦】

18E3 (10:00~10:30) 座長：関野 徹(東北大多元研)

「構造・機能デバイス用先進高分子基複合材料の力学・物理特性」

竹田 智 (東北大院工)

F会場 (B棟 2階 201教室)

【日本分析化学会東北支部推薦】

18F2 (9:25~10:10) 座長：尾形健明(山形大院理工)

分析化学：「すっかり変わった環境中の放射能」

大槻 勤 (東北大院理)

18F3 (10:10~10:55) 座長：小川信明(秋田大院工学資源)

環境化学：「東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理」

吉岡敏明 (東北大院環境)

G会場 (B棟 2階 202教室)

【化学工学会東北支部推薦】

18G1 (9:00~9:30) 座長：阿尻雅文(東北大多元研)

「電磁浮遊技術による高温融体の熱物性測定」

塚田隆夫 (東北大院工)

依頼講演

(生体分子化学、若手シンポジウム含む)

9月17日(土) 10:00~12:10(物理化学のみ17日)

9月18日(日) 9:00~11:00

B会場 (B棟 1階 101教室)

【高分子学会東北支部推薦】

18B3 (10:00~10:30) 座長：笠井 均(東北大多元研)

「界面機能分子制御の光ナノインプリントリソグラフィへの展開」

中川 勝 (東北大多元研)

【繊維学会東北北海道支部推薦】

18B4 (10:30~11:00) 座長：大石好行(岩手大工)

「溶剤可溶型芳香族ポリケトンの合成研究」

前山勝也 (山形大院理工)

C会場 (B棟 1階 102教室)

【日本化学会東北支部推薦(物理)】

17C7 (9月17日(土) 11:40~12:10) 座長：秋山公男(東北大多元研)

「電子スピン共鳴法でみる励起状態の電子状態」

山内清語 (東北大多元研)

【電気化学会東北支部推薦】

18C2 (9:30~10:00) 座長 :

「パイロカーボン被覆インプラントの腐食性と骨接着性」

山本 修 (山形大院理工)

18C3 (10:00~10:30) 座長 : 八代 仁(岩手大工)

「単結晶電極上での電解析出における核生成・成長過程の解析」

指方研二 (石巻専修大理工)

18C4 (10:30~11:00) 座長 : 宇井幸一(岩手大工)

「電気流体力学効果による沸騰熱伝達の促進」

鹿野一郎 (山形大院理工)

D 会場 (B 棟 2 階 200 教室)

【有機合成化学協会東北支部推薦】

18D1 (9:00~9:30) 座長 : 土井隆行(東北大院薬)

「二核性インドールアルカロイド(+)-Haplophytine の全合成」

植田浩史 (東北大院薬)

18D2 (9:30~10:00) 座長 : 土井隆行(東北大院薬)

「ビアリアルを主骨格に有する蛍光性レセプターの開発」

近藤慎一 (山形大理)

18D3 (10:00~10:30) 座長 : 寺田眞浩(東北大院理)

「イソテルラゾールとアセチレン系ジエノフィルのヘテロ環化付加をキーステップとする縮環ピリジン系アルカロイド骨格の短段階構築」

島田和明 (岩手大工)

E 会場 (B 棟 1 階 104 教室)

【無機マテリアル学会北部支部推薦】

18E2 (9:30~10:00) 座長 : 佐藤次雄(東北大多元研)

「水溶性ケイ素化合物を活用したケイ素含有蛍光体の合成と高輝度化」

手束聡子 (東北大多元研)

【日本材料学会東北支部推薦】

18E4 (10:30~11:00) 座長 : 関野 徹(東北大多元研)

「二分子膜流動の化学」

日出間 るり (山形大院理工)

F会場 (B棟 2階 201教室)

【生体分子化学 日本化学会東北支部推薦】

17F1 (10:00~10:30) 座長：梅津光央(東北大多元研)

「黄色ブドウ球菌由来巨大蛋白質 Ebh の全体構造に関する研究」

田中良和 (北大創成科学共同研究機構)

17F2 (10:30~11:00) 座長：梅津光央(東北大多元研)

「GTP 結合タンパク質 Ras の揺らぎと反応サイクルに関する理論的研究」

小林千草 (理研)

17F3 (11:00~11:30) 座長：梅津光央(東北大多元研)

「立体構造解析を目指した膜蛋白質改変体作製プラットフォーム」

白石充典 (九州大院薬)

17F4 (11:30~12:00) 座長：梅津光央(東北大多元研)

「人工膜小胞を用いた膜輸送体の機能解析」

七谷 圭 (東北大院工)

F会場 (B棟 2階 201教室)

【日本分析化学会東北支部推薦】

18F1 (9:00~9:25) 座長：遠藤昌敏(山形大院理工)

「細胞内へ導入した金ナノ粒子の共焦点光散乱顕微観察」

藤原一彦 (秋田大院工)

G会場 (B棟 2階 202教室)

【若手シンポジウム】

17G1 (10:00~10:30) 座長：叶 直樹(東北大院薬)

「核酸／リガンド相互作用解析と分析化学的応用」

西澤精一 (東北大院理)

17G2 (10:30~11:00) 座長：叶 直樹(東北大院薬)

「半導体微細加工に基づく脂質二分子膜イオンチャネルチップの開発」

平野愛弓 (東北大院医工)

17G3 (11:00~11:30) 座長：叶 直樹(東北大院薬)

「アセトゲニン類の合成とミトコンドリア complex I に対する阻害活性」

今野博行 (山形大院理工)

17G4 (11:30~12:00) 座長：叶 直樹(東北大院薬)

「有機ナノ結晶研究の最近の進展～ナノ薬剤の開発まで～」

笠井 均 (東北大多元研)

【化学工学会東北支部推薦】

18G2 (9:30~10:00) 座長：阿尻雅文(東北大多元研)

「マイクロリアクタによる単分散複合酸化物微粒子の調製」

木俣光正 (山形大院理工)

18G3 (10:00~10:30) 座長：猪股 宏(東北大院工)

「イオン交換膜を用いたアミノ酸及び乳酸の分離法」

佐藤和久 (一関高専)

18G4 (10:30~11:00) 座長：猪股 宏(東北大院工)

「超音波を活用したポリマー合成における分子量分布の制御」

久保正樹 (東北大院工)

2011 年度 物理化学コロキウム

「東北地区物理化学研究 — その現状と将来」

日時：2011 年 9 月 17 日 AM8:30～11:35

場所：東北大学 川内北キャンパス 仙台市青葉区川内 27-1

主催：日本化学会東北支部

共催：日本分光学会東北支部

プログラム

8:30-8:40	開会の挨拶 美齊津 文典
8:40-9:05	放射線と物質との相互作用—基礎過程から放射線検出への応用まで 東北大院工 越水 正典
9:05-9:30	擬縮退状態を持つ分子の光による非断熱ダイナミクス制御 東北大院理 菅野 学、小野由香莉、河野裕彦、藤村勇一
9:30-9:55	貴金属ハライド添加カルコゲナイドガラスの構造とイオン伝導 山形大学理 臼杵 毅
9:55-10:10	休憩
10:10-10:35	Ctrl による銅イオン細胞内取り込みの分子メカニズム 東北大院薬 三浦 隆史
10:35-11:00	高速電子衝撃実験で探る分子の電子状態 東北大多元研 渡邊 昇、山崎 優一、高橋 正彦
11:00-11:25	走査トンネル顕微鏡による金属酸化物の原子レベルでの物性解明 東北大融合研 湊 丈俊
11:25-11:35	閉会の挨拶

有機化学コロキウム

主催 日本化学会東北支部

共催 有機合成化学協会東北支部

会期 平成23年 9月17日(土) 9時30分～12時10分

東北大学川内北キャンパス D会場(B棟 2階 200教室)

座長:服部 徹太郎(東北大院工)

09:30～10:10 17D1

1. 「水素化分解反応を用いたバイオマス由来化学原料の合成」

(東北大院工)富重 圭一

10:10～10:50 17D2

2. 「親油性イオン対を用いた機能性材料の開発」

(北大院理)佐田 和己

座長:大井 秀一(東北大院工)

10:50～11:30 17D3

3. 「触媒制御での4 π 電子環状反応における回転選択性の逆転:不飽和アミジンの立体選択的合成」

(京大院薬)高須 清誠

11:30～12:10 17D4

4. 「遷移金属エノラートを鍵とする不斉触媒反応」

(理研)袖岡 幹子

ナノマテリアルコロキウム

主催 日本化学会東北支部
共催 日本セラミックス協会東北北海道支部
無機マテリアル学会北部支部

会期 平成 23 年 9 月 17 日(土) 9 時 00 分～12 時 00 分
東北大学川内北キャンパス E 会場(B 棟 1 階 104 教室)

座長: 殷 澍(東北大多元研)

09:00～09:25 17E1

1. 依頼講演「水溶性チタン錯体を原料とする形態を制御した酸化チタン多形の合成」
(東北大多元研)○小林 亮, 加藤英樹, 垣花真人

09:25～09:55 17E2

2. 招待講演「酸化チタンナノチューブの創製とその光化学機能」
(東北大多元研)○関野 徹, 朴 動鎮, 金 長烈, 田中 俊一郎

09:55～10:25 17E3

3. 招待講演「タンパク質によるアラゴナイト結晶形成制御: 真珠バイオミネラリゼーションから学ぶ」
(東北大生命)○小川智久

10:25～10:35

休憩

座長: 関野 徹(東北大多元研)

10:35～11:00 17E4

4. 招待講演「生物にならう金属酸化物と有機高分子のナノ・マクロ階層構造材料の精密な合成」
(慶應大理工)○緒明 佑哉

11:00～11:30 17E5

5. 招待講演「ナノ構造単位の連結による有機シリカ多孔体の構築」
(東大工)○下嶋 敦

11:30～12:00 17E6

6. 招待講演「無機ナノシートの精密集積とその応用」
(物質・材料研究機構)○長田 実

化学教育研究協議会東北大会

主催 日本化学会東北支部(東北支部化学教育協議会)

後援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、秋田県教育委員会、
青森県教育委員会、岩手県教育委員会、福島県教育委員会、山形県教育委員会

会期 平成 23 年 9 月 17 日(土)～18 日(日)

東北大学川内北キャンパス H 会場(B 棟 2 階 203 教室)

【化学教育 口頭発表】

9 月 17 日(土) 15:30～16:15

座長 長南幸安(弘前大教)

17H1 (15:30～15:45)

科学コミュニケーター養成とスライム実験の改良(山形大サイタセンター)○菅原 晃・
今野 進・栗山恭直

17H2 (15:45～16:00)

新聞から求めた放射性元素の半減期(日大工)井上友昭

17H3 (16:00～16:15)

炎色反応演示用安定発光装置(尚絅学院大)斎藤紘一

9 月 18 日(日) 9:00～11:30

座長 栗山恭直(山形大理)

18H1 (9:00～9:15)

スイートソルガムを用いたバイオエタノール合成の教材研究(弘前大院教育・弘前大
教育)○矢野 慎・杉本将英・山田 緑・肥田野 豊・長南幸安

18H2 (9:15～9:30)

SCN宮城の活動報告(仙台西高)窪田篤人

18H3 9:30～9:45

高校化学におけるスモールスケール生徒実験. XXV. ピロールの電解重合による導
電性高分子ポリピロールの合成(秀光中等教育・東北大)○東海林恵子・荻野和子

座長 内田修司(福島高専)

18H4 (9:45~10:00)

バイオリクターを用いたアルコール発酵と分析への試み(弘前大院教育)○小野寺美佳・長南幸安

18H5 (10:00~10:15)

恐山におけるヒ素の分析(弘前大教育)○室舘義孝・植田勇人・長南幸安

18H6 (10:15~10:30)

マイクロスケールケミストリーの国際的な動き(東北大)荻野和子

座長 猿渡英之(宮城教育大)

招待講演 18H7 (10:40~11:30)

身の回りの放射能・放射線 -これまでとこれから-(宮城教育大)玉木洋一

【化学教育 ポスター発表】

9月17日(土) 16:15~17:00

1P176 簡易電気泳動法と活性染色を用いた酵素の働きに関する実験の教材化(福島高専)○林 真・柴田公彦・山崎正弘・川上欣洋・徳永健太

1P177 苫小牧高専における化学を専門としない学科の一般化学の授業内容について(16)(苫小牧高専)山口和美・○笹村泰昭

1P178 福島県および近隣県の普通科高校と専門高校における化学教育の現状と課題(福島県浪江高津島校・福島工業高・福島研教育セ・福島大理工)○高橋信幸・辻本理恵・猪股一教・長谷部 亨

1P179 放射線計測と化学教育 —福島大学放射線計測チームの取り組みを活かして—(福島大学理工)○高瀬つぎ子・福島大学放射線計測チーム

1P180 地域と連携した環境教育活動の試み(福島高専)○内田修司・市井雅伸・原田正光

1P181 省エネルギーを実現する潤滑油の成分と性能(岩手大工・岩手大技)○毛利秋仁・七尾英孝・小林公博・森 誠之

2-4 企業等展示ブース

本東北大会で初めて企業等展示ブースをポスター発表会場内で「試験的」に行った。展示ブースの公募は行わず、主に企業等側からの照会に対して個別に対応した。その結果、無料で、以下の2民間企業と大学関連施設の展示ブースを設けた。なお、この2民間企業からは企業広告費をお支払い頂いた。

- ・セナーアンドバーンズ株式会社
- ・株式会社オーディービー (JCC ギミック)
- ・東北大学ナノテク支援センター

展示ブースの仕様は、ポスターボード1枚とその前に教室用机を1台置いた。電源および水回りの設備は設けず、これらの仕様条件をご了解頂いた。



2-5 本部関連広報活動

本東北大会会期中、大会受付にコーナーを設けて、「世界化学年 2011」および「CSJ 化学フェスタ」のパンフレットを配布した。多くの参加者が関心を示し、パンフレットを持ち帰った。



International Year of CHEMISTRY 2011

第1回 CSJ化学フェスタ

— 2011 世界化学年記念大会 —

会期 **2011年 11月 13日・14日・15日**

会場 **早稲田大学** [大隈記念講堂・大隈小講堂・小野記念講堂]

詳細・参加登録は → <http://www.csj.jp/festa/>

CSJ化学フェスタ開催

美しい映像とともに、地球と化学を考える。

南緯伊市の半生を描いた映画「さくら、さくら」の市川崑監督、国立天文台から「最初の一般論、国際標準化大学から西野陽樹が監督員にご講演いただきます。

2011 ノーベル化学賞特別企画

世界一早い解説をお届けします!

10月に決定する、今年のノーベル化学賞の内容も、さよなら早く、わかりやすく公開します。

2010 ノーベル化学賞受賞

鈴木重教授が語る!「クロスカップリング反応」

「有機合成にまけるパラジウム触媒クロスカップリング」の研究で2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木重・北澤通夫大学名誉教授をお招きし、講演会を行います。

フェスタ企画 告知要あり

- CSJ 化学フェスタ前夜祭 [11/13 ①PM]
- 未来に向けたイノベーション [11/14 ①PM]
- 2010 ノーベル化学賞講演会 [11/14 ②PM]
- 大型研究のアウトリーチ [11/14 ③PM]
- 2011 ノーベル化学賞特別講演会 [11/14 ④PM]
- 新化学技術振興協会奨励研究講演会 [11/14 ④PM]

フェスタ企画 告知不要

- テーマフェスタ「エネルギー問題と化学」
持続可能な社会の構築に向けたエネルギーの課題/エネルギー創出を変革する化学技術や燃料/エネルギーを創り出せる化学一新、最先端の最新研究、化学の立場から総論します。
- 産学官 実証フェスタ
未来のエレクトロニクス/未来の住宅/未来の自動車/未来の医療・環境/エネルギーをテーマに、産学官を元気で紹介します。
- 企業R&Dセッション ● 企業R&Dブース展示
- 学生ポスターセッション

主催: 日本化学会 共催: 早稲田大学 後援: 科学技術振興機構(NST)/日本化学工業協会/国立科学博物館

2-6 懇親会

本東北大会初日、9月17日（土）、午後18時から仙台国際ホテルにて懇親会が開催された。招待者5名を含む、124名の出席があり、懇親を深めることができた。また、会場では「21st 仙台定禅寺ストリートジャズフェスティバル（9月10日～11日）」にちなんで、東北工業大学OBのミュージシャンのよるジャズ演奏があり、会場の雰囲気盛り上げた。

<式次第>

- 1) 及川英俊 東北大会実行委員長の挨拶（東北大多元研）
- 2) 河野裕彦 日本化学会東北支部長の挨拶（東北大院理）
- 3) 岩澤康裕 日本化学会会長のご挨拶（東大名誉教授、電通大）
- 4) 下井 守 日本化学会教育・普及部門長のご挨拶（東大院総合文化）
=== 歓 談 ===
- 5) 福村裕史 東北大学大学院理学研究科長のご挨拶（東北大院理）
- 6) 川島伸之 日本化学会常務理事のご挨拶
- 7) 山田宗慶 東北大会次期実行委員長のご挨拶
(東北大名誉教授、秋田高専)
- 8) 佐藤次雄 日本化学会東北支部次期支部長のご挨拶（東北大多元研）





2-7 優秀ポスター賞授賞式・閉会式

本東北大会の最後、9月18日（日）、午後14時30分から、A会場にて優秀ポスター賞授与式と閉会式が行われた。ポスター発表361件の中から、厳正な審査を経て、48件の優秀ポスター賞が選ばれ、授与式で受賞者名が披露された。なお、表彰状は後日、支部事務局から発送された。

<式次第>

- 1) 河野裕彦 日本化学会東北支部長の挨拶（東北大院理）
- 2) 優秀ポスター賞受賞者の発表
- 3) 山田宗慶 東北大会次期実行委員長のご挨拶
(東北大名誉教授、秋田高専)
- 4) 及川英俊 東北大会実行委員長の閉会の挨拶（東北大多元研）



河野支部長と優秀ポスター賞受賞者

＜優秀ポスター賞 受賞者一覧＞

A 無機/分析/環境化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P016 日登圭宣(秋田大院工)	チオール基を有する5残基ペプチドで修飾した金ナノ粒子の細胞内導入効率の検討
1P021 及川貴史(一関高専)	光触媒反応と電気分解を組み合わせた有機色素の脱色
2P001 伊藤翔平(福島大理工)	鉄-硫黄二核錯体 $Cp^*_2Fe_2S_4$ ($Cp^*=C_5Me_5$)とアセチレンジカルボン酸ジメチルとの反応
2P005 田中みゆき(東北大多元研)	フルオレセイン/層状複水酸化物ナノ複合体の細胞内への輸送挙動
2P018 石川幸佑(山形大院理工)	In vivo ESR/スピンプローブ法による抗酸化剤を観るための分析手法
B 物理化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P026 並河英紀(山形大理)	非平衡振動反応を利用した物質操作
1P032 飯澤幸絵(山形大理工)	AgI添加 As_2Te_3 系ガラスにおける高イオン伝導性発現の追跡
2P027 川口達也(東北大院理)	なぜ液体ベンゼンの界面で和周波発生が起こったか
2P031 鈴木大介(東北大多元研)	電子衝撃による CF_4 の価電子励起における分子振動の影響
2P040 藤原 瞳(東北大多元研)	ホスホリレーシグナル伝達系に関するタンパク質間相互作用の直接測定
2P045 河野直樹(東北大院工)	ワニエ・フレンケル励起子間の共鳴効果の誘起による発光特性変化
C 有機化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P047 Xia Sheng(東北大院薬)	Synthesis of twisted optically active phenanthrenes
1P053 長岐正彦(弘前大院理工)	アリル性基質ホモログに関するE-型およびZ-型ファルネシルニリン酸合成酵素の基質特異性
1P060 関根久美子(東北大院生命)	ディデムナケタールC1-C11フラグメントの立体選択的合成
1P085 嶋田裕亮(東北大院理)	ジシラン二重架橋芳香族二量体の合成と構造
1P090 氏家心平(岩手大工)	ホスホールをコアユニットとした分岐型オリゴチオフェン誘導体の合成と物性
1P095 田崎史也(山形大院理工)	<i>M.luteus</i> 由来ウンデカプレニルニリン酸合成酵素の鎖長決定メカニズムの解明
1P105 浅井伸太郎(弘前大院理工)	アームチェア型カーボンナノチューブセグメント構築を目指した環状アセチレン化合物の合成
2P047 西崎史郎(東北大院理)	水溶性キラルランタニドシフト試薬によるペプチドC末端残基のキラリティー識別
2P053 吉井 優(東北大院薬)	(-)-Paspalineの合成研究
2P058 松下 修(東北大院理)	22π 電子共役を有する拡張型フタロシアニン類縁体の合成と物性解明
2P062 中野翔太(東北大院理)	ビレン縮環サブフタロシアニンの合成と物性
2P071 市橋佑介(東北大院薬)	ジアステレオ選択的なケタール化反応を基盤とした(-)-Cepharamine の不斉全合成研究
2P075 大澤宏祐(東北大院薬)	タンパク質間相互作用阻害活性を示すThiolicin B1の全合成
2P080 小林隆一(日大工)	ランダム変異導入による大腸菌エステラーゼの新規活性向上変異体の取得
2P087 金井大樹(東北大院工)	光ラセミ化する軸不斉ピフェナンスレンの簡便な合成とそのラセミ化制御
2P105 佐野明日香(東北大院理)	ブレンステッド酸触媒による[1,3]-転位反応を利用した2,4-置換ホモアリルアミン合成
2P107 嶋 建也(東北大多元研)	交互両親媒性化合物の二分子膜中での立体構造と機能
D 工業化学/化学工学	
発表番号/名前/所属	演題
1P116 大場千聖(東北大院工)	紫外可視分光法に基づく新規装置開発と希少成分の昇華圧測定
2P112 池内孝夫(秋田大院工)	細孔径の異なるSBA-15を担体とするCo触媒の調製
2P121 関口達也(山形大院理工)	超音波の変調によるキャビテーション特性の変化
E 高分子/繊維化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P129 市川 司(日大院工)	ポリシロキサンを主鎖とする四級イミダゾリウム塩の合成
1P136 飯森友紀(東北大多元研)	ポリジアセチレンナノファイバー配向薄膜に関する研究
2P122 松本和也(秋田大院工)	ポリエーテルスルホンによる多層カーボンナノチューブの可溶化と複合体の作製
2P134 猿田一平(秋田高専)	CHPナノゲルを用いた酵素安定化システム
2P136 吉田尚生(東北大院工)	オリゴ糖チオピリジルグリコシドの一段階合成
F 材料化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P141 角田世治(青森産業技術セ)	天然粘土に含まれる鉄化学種の光触媒作用とその速度論的考察
1P148 長谷川貴彦(東北大多元研)	水溶性ケイ素化合物を用いた単分散シリカナノ粒子の合成
1P153 佐藤雄一(東北大多元研)	水熱法によるスズ(II)ドーブチタン酸バリウムの合成と特性評価
1P158 松尾里美(東北大多元研)	Cu-TCNQ錯体ナノ結晶の結晶サイズに依存した光学特性
2P146 高橋陽平(秋田大工)	アパタイト型リン酸塩担持Pt触媒のNO還元特性に対する担体組成の影響
2P147 佐藤惣二郎(山形大院理工)	照射によるハイドロキシアパタイト・酸化チタン複合材料のQCM応答と光触媒活性
G 電気化学	
発表番号/名前/所属	演題
1P167 田嶋直行(岩手大院工)	スプレードライ法を用いたリチウム過剰 $Li_{4.5}Ti_{5-x}Cr_xO_{12}$ の合成とその電極特性
1P172 糸井弘行(東北大多元研)	規則性ナノグラフエフェン構造体による超大容量電気化学キャパシタ
2P167 阿部敏之(弘前大院理工)	可視全域の光エネルギーの利用により水素をもたらすフタロシアニン/フラレン系光カソード
2P178 森川寛幾(東北大院工)	TOF法による有機半導体単結晶の移動度測定
H 化学教育	
発表番号/名前/所属	演題
1P176 林 真 (福島高専)	簡易電気泳動法と活性染色を用いた酵素の働きに関する実験の教材化
1P180 内田修司(福島高専)	地域と連携した環境教育活動の試み

< 「災害危機管理マニュアル」 >

- ※ 実行委員、会場責任者およびアルバイト院生は、本マニュアルを熟読の上、当日は持参のこと。
- ※ また、安全ヘルメットをお持ちでしたら、当日、ご持参下さい。大会本部に常備します。

日本化学会 東北支部

東北大会

平成 23 年 9 月 17 日（土）～9 月 18 日（日）

（設営作業：平成 23 年 9 月 16 日（木）、18 時～）

東北大学川内北キャンパス

（講義棟：A 棟、B 棟、マルチメディア棟）

懇親会：平成 23 年 9 月 17 日（土）、18 時～、仙台国際ホテル

< 東北大会 災害危機管理マニュアル >

川内北キャンパス警務員室：022-795-7577

（川内北キャンパス 事務管理棟 正面玄関脇の窓口）

1. 災害：川内北キャンパスでの東日本大震災後の余震および火災等の発生

2. 川内北キャンパスの特殊事情

- （1）開催日が週末の土日であるため、他部局（国際文化研究科など）の教員および事務職員は不在。
- （2）会期中は、警務員のみが常駐。
- （3）キャンパス内では震災後の復旧工事が行われている。
- （4）実行委員および会場責任者、アルバイト院生は川内北キャンパス内の状況を必ずしも充分には把握していない。
- （5）大会参加者：500 名～600 名。この内の半分が県外から参加の大学教員と院生等。

3. 大会会期中（懇親会時を除く）の対応

- (1) 災害発生時には、実行委員および会場責任者を以て、**災害対策本部**を東北大会本部（B棟談話室）内に設置する。
- (2) 本部長：及川実行委員長、
副本部長：河野支部長、珠玖庶務幹事、小野寺会計幹事
事務局本部員 岡田、千葉
- (3) 災害対策本部（大会本部：B棟談話室）には、「拡声器」と「ヘルメット」、インターネット受信可能なPCを予め常備する。
- (4) 事務局本部員は、常に最新の「参加者リスト」を準備する。
- (5) 災害発生後、各講演会場およびポスター会場の本部員（実行委員および会場責任者）は、当該会場の参加者および大会関係者（アルバイト院生を含む）を避難経路に従って、避難場所（添付資料1）である講義棟と厚生会館との間の広場に集合させる。
誘導アナウンスの例：「落ち着いて下さい。机の下に身を隠して下さい。揺れが治まったら、頭上からの落下物に注意しながら、講義棟前の広場に避難して下さい。」
- (6) 予め、すべての本部員（実行委員および会場責任者）は避難経路を充分に確認しておくこと。
- (7) 会場係は、予め、懸垂式プロジェクターなどの落下危険物を事前確認しておく。
- (8) 副本部長（珠玖庶務幹事、小野寺会計幹事）および事務局本部員 岡田、千葉は、避難者を可能な限り、仙台および宮城県からの参加者とそれ以外の他県、東京・関東方面からの参加者に分かれて集合して貰う。
- (9) 「参加者リスト」を基に可能な限りの安否確認を行う。特に、避難時に所在不明な参加者の情報を収集に努める。
- (10) 副本部長（河野支部長）は、川内北キャンパス警務員と連絡を取る。
状況に応じて、警務員室の「**館内一斉放送**」設備を利用する。
- (11) 副本部長（河野支部長）、若干名の本部員（実行委員および会場責任者）は、警務員とともに、安全を確認しながら（ヘルメット着用）、講義棟内に入り、全講義室およびトイレなどその他の場所を点検して参加者全員が避難したことを確認する。
- (12) さらに、警務員および生協職員の協力のもとに、厚生会館内およびそ

の周辺の参加者の避難を確認する。

- (13) 本部長（及川実行委員長）は「川内北キャンパス緊急連絡網」へ報告し、その指示を仰ぐ。

※ 「川内北キャンパス緊急連絡網」には個人情報を含むため、及川実行委員長、河野支部長および事務局 岡田のみが予め所持する。

- (14) 初日の場合は、翌日開催の可否を災害対策本部で協議決定する。

- (15) 本部長（及川実行委員長）は、避難した参加者を解散させる。

この際、災害発生時刻、解散時刻、ライフライン、交通機関の状況を十分に協議・勘案すること。

- ・ 初日の場合は、翌日開催の可否をアナウンス
- ・ 仙台および宮城県内からの参加者が安全に帰宅できるか？
- ・ 県外からの参加者が安全にホテルへ戻れるか？
- ・ ホテルに続泊可能か？
- ・ 避難場所として、講義棟内教室を検討する。

4. 懇親会時の対応

- (1) ホテル側の指示に従って、避難する。
- (2) 災害規模の情報収集と翌日開催可否の協議・決定。
- (3) 翌日の開催が中止の場合は、会場に掲示。HP やメール等で周知する。
- (4) 翌日より、大会関係者および参加者の安否情報収集に努める。

5. 東北大会直前に災害（この場合は、最大余震）が発生した際の判断

- (1) 9月13日までに災害が発生した場合は、ライフラインおよび交通機関、生協の対応状況（ポスターボードの手配と食堂営業）を勘案し、開催の中止、一部開催を判断する。その旨をHP やメール等で周知する。
中止した場合の事後処理は、後日、実行委員会を開催して決定する。
- (2) 9月14日以降に災害が発生した場合は、開催を中止とする。その旨をHP やメール等で周知する。
中止した場合の事後処理は、後日、実行委員会を開催して決定する。

3. 防災・日本再生シンポジウム

「東北地方の化学と教育：3.11から189日の歩み」

本東北大会の前日、9月16日（金）、午後14時30分から、東北大学片平キャンパス「さくらホール」にて標題のシンポジウムが開催された。52名の出席者があり、東日本震災からの復旧・復興、さらには再生に向けた熱心な討論が展開された。なお、2012年3月26日、日本化学会春季年会で、このシンポジウムを引き継いだ形のシンポジウムが東北支部との共催で開催予定である。

防災・日本再生シンポジウム

「東北地方の化学と教育：3.11から189日の歩み」のご案内

共催：公益社団法人 日本化学会東北支部、東北大学大学院理学研究科、国立大学協会

会期：平成23年 9月16日(金)

時間：14:30～17:00

会場：東北大学片平キャンパス さくらホール2階

参加費：無料(どなたでもご聴講頂けます)

【講演】

- 1) 「復興マラソン：有機化学研究室の一事例」 磯部寛之(東北大院理)
- 2) 「東日本大震災における石巻専修大学の対応」 指方研二(石巻専修大)
- 3) 「東日本大震災からの復興を目指して－原発避難区域の高等学校現場の現状－」
高橋信幸(福島県浪江高津島校)
- 4) 「1978年と1983年の震災経験と2011年の地震－防災への心構えと行動規範－」
中村 彰(秋田大院医)
- 5) 「免震構造によって守られた東北薬科大学～33年前の震災からの教訓」
吉村祐一(東北薬科大)
- 6) 「東日本大震災後の大学のあり方」 小間 篤(秋田県立大)

それぞれの被災経験や今後の復旧・復興への道筋や思いをご講演頂きます。

シンポジウム後、懇親会(情報交換会)を同会場にて開催いたします。

聴講希望者及び懇親会参加希望者はメールにて参加登録をお願いいたします。

【事前参加登録方法】

メールタイトルを「再生シンポジウム参加希望」とし、以下の項目をお知らせください。

- 1) お名前
- 2) ご所属（一般の場合は一般と明記）
- 3) 懇親会参加の有無

※懇親会は会費1,000円を当日お支払い頂きます。

【事前参加申込メールアドレス】

nikka.tohoku@chemistry.or.jp

4. おわりに

東日本大震災からまだ6ヶ月しか経過しておらず、各大学・各研究室の復旧・復興がまだ道半ばの状況にあったにも係わらず、600名以上の方々にご参加頂き、400件以上の講演発表が大きなトラブルも無く、無事に終了致しました。幸い、大きな余震も有りませんでした。

このような状況下にも係わらず、本東北大会にお越し頂きました岩澤康裕 日本化学会会長、下井 守 日本化学会教育・普及部門長、川島伸之 日本化学会常務理事をはじめ、特別講演、招待講演・依頼講演を快く引き受けて頂いた講師の先生方にまず心から御礼を申し上げます。また、関係者としてご出席頂きました福村裕史 東北大学大学院理学研究科長、山田宗慶 東北大会次期実行委員長、佐藤次雄 日本化学会東北支部次期支部長に御礼を申し上げます。さらに、各セッションでの講演者をご推薦頂きました化学系学協会支部長の先生方ならびにセッションオーガナイザーやコロキウムをご担当頂きました先生方にも御礼を申し上げます。

最後に、河野裕彦 東北支部長ならびに東北支部幹事の先生方、実行委員およびプログラム編成に携わって頂きました先生方、東北支部事務局の岡田（菊地）様と千葉様、アルバイト院生など、すべての関係者に心から感謝申し上げます。

東北大会実行委員長
及川英俊（東北大多元研）
（平成23年11月24日）

平成 23 年度化学系学協会支部長（各セッション講演者推薦担当）

日本化学会東北支部長	河野裕彦（東北大院理）
高分子学会東北支部長	澤田英夫（弘前大院理工）
日本分析化学会東北支部長	尾形健明（山形大院理工）
化学工学会東北支部長	長谷川政裕（山形大院理工）
有機合成協会東北支部長	山口雅彦（東北大院薬）
電気化学会東北支部長	仁科辰夫（山形大院理工）
日本材料学会東北支部長	上原拓也（山形大院理工）
繊維学会東北北海道支部長	岡田修司（山形大院理工）
無機マテリアル学会北部支部長	鵜沼英郎（山形大院理工）

平成 23 年度化学系学協会東北大会および化学教育研究協議会東北大会 実行委員会およびプログラム編成委員

実行委員長	及川英俊（東北大多元研）
東北支部長	河野裕彦（東北大院理）
化学教育議長	飛田博実（東北大院理）
大会幹事長	珠玖 仁（東北大院環境）
支部幹事長	豊田耕三（東北大院理）
大会会計	小野寺恒信（東北大多元研）

無機化学セッションオーガナイザー	滝澤博胤（東北大院工）
分析化学セッションオーガナイザー	星野 仁（東北大院工）
物理化学セッションオーガナイザー	美齊津文典（東北大院理）
有機化学セッションオーガナイザー	寺田眞浩（東北大院理）
工業化学セッションオーガナイザー	猪股 宏（東北大院工）
高分子・繊維化学セッションオーガナイザー	正田晋一郎（東北大院工）
化学工学セッションオーガナイザー	阿尻雅文（東北大多元研）
材料化学セッションオーガナイザー	佐藤次雄（東北大多元研）
電気化学セッションオーガナイザー	末永智一（東北大院工）

環境化学セッションオーガナイザー	井上千弘 (東北大院環境)
生体分子化学セッションオーガナイザー	高橋 聡 (東北大多元研)
若手シンポジウムセッションオーガナイザー	叶 直樹 (東北大院薬)
化学教育研究協議会セッションオーガナイザー	猿渡英之 (宮城教育大)
有機化学コロキウムオーガナイザー	服部徹太郎 (東北大院工)
物理化学コロキウムオーガナイザー	美齊津文典 (東北大院理)
ナノマテリアルコロキウムオーガナイザー	垣花真人 (東北大多元研)
※ 上記のセッションオーガナイザーに加え、各学協会支部長もセッションオーガナイザーとなります。	

(以下、プログラム編成委員を兼務)

無機/分析/環境化学 担当	壹岐伸彦 (東北大院工) 西澤精一 (東北大院理) 佐藤雄介 (東北第院理) 葛西重信 (東北工業大) 須藤孝一 (東北大院環境)
物理化学 担当	杉原興浩 (東北大多元研)
有機化学 担当	諸橋直弥 (東北大院工) 佐藤 格 (東北大院理)
工業化学/化学工学 担当	蟹江澄志 (東北大多元研) 渡邊 賢 (東北大院工) 高見誠一 (東北大多元研) 佐藤善之 (東北大院工)
高分子化学/繊維化学 担当	小林厚志 (東北大院工) 野口真人 (東北大院工)
材料化学 担当	殷 澍 (東北大多元研)
電気化学 担当	伊藤 隆 (東北大学際センター) 松川 健 (理研)
化学教育 担当	猿渡英之 (宮城教育大)
生体分子化学セッション担当	梅津 光央 (東北大院工)
若手シンポジウム担当	叶 直樹 (東北大院薬)
有機化学コロキウム担当	服部徹太郎 (東北大院工)

物理化学コロキウム担当

美齊津文典（東北大院理）

ナノマテリアルコロキウム担当

垣花真人（東北大多元研）

日本化学会東北支部事務局

岡田（菊地）珠実

千葉依巳

以上